

あさひ



八岐の大蛇 宮崎鹿嶋神社

古文書や明治およびその以前の古記を見ると、干支が必ずと云つていいほど使われている。たとえば、昭和四十二己巳年、或いは昭和四十年在歳乙巳などと。

さて今年昭和四十年の新年をむかえ、新しい暦をかかげて、今年はずよりよい年であってほしいと祈るは誰しものいづく、歳の始めの感懐であろう。

暦の上では、乙巳(キノトミ)の年にあたる。乙という字は、かがまる、まがるとも読めるので、その意味は、唯おしつぶされてまがるのではなく、力を体内に十分にためて、機会を得れば、大きくのび上る、はね上るための姿を指すのである。

己は、へびのことである。へびはとぐるを巻き、時あらばのび上ろうとする意態にもえている動物である。乙といい、巳といい、共に力を内にたくわえ、来るべきチャンスにそなえる意態において正に一致している点、不思議な、えとのまわり合わせである。

昨年は辰年で、町の飛躍的発展、しかも、朝日町誕生十周年という意義深い年の縁起として期待したのであった。町造り十一年の蓄積された力を今年こそ大いにのばしてほしい年であり、町民一同また期待して止まないものがある。

つけ加えておきたいことは、この干支(えと)を、単に迷信と笑い去る人もあるが、この干支は東洋においては遠い五千年の昔から、年を数えるための数字に代用されていたのでそれが今日まで続いているものである。しかし来年昭和四十一年は丙午(ヒノエウマ)の年になります。江戸時代、八百屋お七が、このヒノエウマ歳生れであったので、それ以来、特にこの年生れの女の子を嫌うという迷信が伝わっている。来年生れるであろうおな

己年によせて

かの子に、かかる故なき伝説のために、心いためるが如きことのないよう。

(編集委員長 九里道守)

宮崎鹿嶋神社向拝の

八岐大蛇の彫刻

宮崎地区の氏神として古い歴史を持つ宮崎鹿嶋神社は、「天然記念物鹿嶋桐叢」を背景に、流作りの屋根に、千鳥破風と唐破風をつけた豪壮華麗な建築物として、当地方屈指の建造物である。明治十一年の建造になるものである。この拝殿の向拝(こはい)の彫刻は、参拝する人たちをして、驚歎の声を放たせる実に立派なもので、八岐の大蛇(やまたのおろち)を退治する素戔嗚尊(すさのをのみこと)と、かたわらに奇稲田姫(くしいなだひめ)を配した、古事記、日本書紀に見える、出雲の國の簸の河上における大蛇退治の場面を浮彫りにしたものである。彫刻師は長野県松本市松ヶ枝町の北村喜代松とある。この人は、宮大工彫刻師として信州路を下つて、越後国は市振に住まい、越中でも二三の社寺の彫刻をしている。この喜代松の子供が明治時代、わが国彫刻界にその人ありとうたわれた北村四海である。四海は少年時代より父喜代松について彫刻の技を修め、宮崎の鹿嶋神社の彫刻に当たつても、四海は父と共にのみを振ったその力作がこれである。

神社の向拝の彫刻は作年の正月号にも紹介したように、龍の如き、霊動物をもつてするのが殆んどである中に、四海父子は、古事記、日本書紀に典拠した、素戔嗚尊の八岐大蛇退治の豪壮な構図を神社建築の彫刻の中にとり入れたことは、さすがに、将来彫刻家として名を成す人にして、この研鑽があったことを思うとき、もっともと感服一しおのものがある。

昭和四十年 を迎えて

朝日町長 本村 本松



昭和四十年の新春を迎えましておめでとございます。

元旦にあたり、年頭のごあいさつを申し述べた機会を得ましたことは、まことに欣幸の至りに存じます。

合併して以来十年を経た朝日町は昨年をもちまして町造りの基礎的な段階を終えて、いよいよ第二次的なあらゆる施設の整備段階を迎えたものと思えます。

都市計画や水政計画の長期的な事業の継続実施はもちろんのこと、農業構造改善事業や、環境浄化の事業を始め、教育施設や社会福祉施設の整備に、さらに広域地域開発の観点から隣接町とも融和提携して町の天然資源の開発促進に拍車をかけねばならぬと考えていますので、各方面のご支援と全町皆さんの一層の協力をお願いする次第です。

統合中学校の建設も一応体育館の完工によって一段落つき、本年は泊第三保育園の建設に、朝日町警察官派出所の建造に、国道八号線城山トンネルの開通、朝日町地内鉄道復線電化工事の着工に、宮崎漁港の完

成等朝日町発展を促進する事業もありますが、なお大然ガスの質量の検査のため、人工地震測定の実施や既設工場の増設促進に、さらに関西電力が昭和四十一年で新黒二の完成に伴ない、下流排水の問題と関連して、朝日発電の適否を決定するため、朝日発電の調査も実施されることとて、町民各位の全面的な理解と助力を懇請申しあげたいのであります。

暦のうえでは本年は己年でありまして、ねばり強さを発揮せねばなりません。

朝日町が第二次的な整備の時期を迎えたと申しあげましたが、これからの十年間は朝日町民のねばり強さにものを云わせ、健全な町として飛躍発展させたいのであります。

この意味でも幸先のよい年を迎えたわけでありませぬ。

最後に、朝日町の将来の発展を祈念し、本年も最良の年たらしめていただくよう格別のご協力をお願い申し上げます。しあげまして昭和四十年を迎えまして年頭のごあいさつといたします。

身体障害者協会 総会開催される

さる十二月一日、朝日町身体障害者協会総会が開催されました。規約審議、運動方針、役員改選等があり今後の身体障害者福祉の増進と新和に努め、今後の社会のために貢献することを強く約束した。

新役員名

- 会長 高田憲次郎 (大家庄)
- 副会長 横越三郎 (泊)
- 監事 清水龍太郎 (泊)
- 大菅栄作 (野中)
- 幹事 岡崎 勇 (泊)
- 役場の事務担当者

町議会議長に 上沢源次氏選出

第七回朝日町議会定例会においてかねて懸案になっておりました、議長、副議長、監査委員の私約交代が行なわれ、議長には上沢源次氏、副議長には上島栄作氏が、監査委員には柚木文治氏がそれぞれ選出されました。そのあと常任委員の改選も次のように行なわれた。



議長 上沢源次氏



副議長 上島栄作氏



監査委員 柚木文次氏

◎総務委員(五人)

- 近藤栄之助 清水伝平
- 美佐光平 柚木文次
- 上沢源次

◎厚生委員(六人)

- 下沢三郎 山本豊太
- 渡辺秋男 九里留作
- 長崎仙松 上島栄作

◎産業委員(六人)

- 金森栄松 大村房次
- 坂口良造 米田吉二
- 金井憲治 谷口栄蔵

◎建設委員(六人)

- 酒井 栄 狩行常作
- 小坂 満 水島繁松
- 長井直之助 大橋米太郎

互選による正副委員長は次回に選任する。

就任のあいさつ

朝日町 上沢源次
議長

謹んでごあいさつ申し上げます。旧臘二十一日に議会組織の改選が行なわれ、不肖私が新組織の議長に就任することになりました。もとより浅学非才であり、この重責は、町民各位の絶大なご支援によらなければ全うできないものであり、心からお願いを申しあげる次第であります。

この際は、強く感じさせられますことは、今日の社会経済の変化は要望等をうけたまわり、皆さんと役所や公共企業体(国鉄、専売、電々、公団、公庫等)の間に立って納得のいくよう解決に努めております。

この機会に、お気軽に行政相談制度をご利用ください。行政監察局も行政相談委員の方も親身にむって皆さんのご相談相手となります。なお朝日町の相談委員は、上町の大菅佐津喜さんです。(役場町長室)

まことにめざましく、自治行政をとりまく環境に大きな変化が起こっており、今後の町政の運営については新しい観点にたつて検討を要するといふことでもあります。

申しあげるまでもなく、町行政は真に町民各位の要求される諸施策に国の施策が総合化され、直結することを要し、しかも健全なる財政を基調となしなればなりません。

そして位民福祉のためには、一切のことがゆるがせにできないのであります。議会は、町当局及び関係機関の間で立って、これを調整し、推進する使命については、心一新して当たらなければならないと思っております。

町民各位の深いご理解とご協力をお願い申しあげる次第であります。

下山用水組合助役 黒部川流域下山用水系 土地改良区理事長 清水倫造氏逝去

清水倫造氏が逝去されました。氏は生涯温厚、誠実、熱心誠意を貫く人でありました。大家庄に全村、バレーボールを普及し、村民の体位向上に全力を傾け、文部大臣賞を受賞せしめ、朝日町をして日本のバレーボールの町となさしめるなどその一つをみても氏の性格が忍ばれます。ここに氏の生前の功績をたたえ、とともに冥福を祈りたいものであります。

△清水氏の略歴▽

朝日町社会教育委員長、朝日町大家庄消防分隊長、朝日町体育協会副会長、大家庄体育協会長、大家庄農業協同組合長、大家庄防犯組合長、下山用水組合助役、黒部川流域下山用水系土地改良区理事長

昭和三十七年九月前議事に引続き総合開発特別委員会が設置されたが、その後十数回にわたり委員会、実地調査が行なわれた結果、次のように答申書が提出された。

朝日町総合開発計画 に関する答申書 (第一次案)

豊富な包蔵資源に恵まれた朝日町の総合開発計画は戦後急速なるわが国経済文化の発展に伴い、少くとも三十年ないし、五十年先の推移を想定し、あらゆる専門的学識を網羅して取り組まないかぎり、後世に悔を残すばかりでなく、逆に当町の発展を阻害する結果ともなりかねない極めて重要な任務を帯びており、特に、電源開発誘致問題に至っては当町の将来はもとより、有史以来再びめぐりぬまさに天恵のチャンスであり、朝日町の浮沈を決する一大事業であるとも云える。

然しながら、最近における水力発電は科学技術の一大革新によってコストの安い原子力と、火力発電に押され、企業者の意欲を次第に水力発電からしりぞけつつあることはいなめない事実であり、慎重に考え込んでいる時間的余裕すらも許されない現状であることに思いをいたされ、更には開発に伴なう補償問題の難易は、電源開発の可否を決定づける重要な要因であることにも特別の配慮と決意が必要である。

これら電源開発を基礎にした「総合開発」によつて包蔵資源の高度の利用を計ることは、当町の経済の発展と民生の向上に不可欠の課題であるとして、過去二カ年にわたり町の未開発地点をつぶさに踏査し、慎重審議の結果別紙の如き結論を得たのでここに委員会を代表し、答申します。

昭和三十九年十一月二日

朝日町議会総合開発特別委員会

委員長 酒 井 栄

朝日町長 本村 本松殿

一、水資源

黒部川の断崖はわが国でもまれに見る規模なもので、当町山岳地帯の八十%までの流域を、黒部川に流れを変えていることを以つてしても知られるとおりである。これらの現象が朝日町の発展を阻害する一大要因となつており、わずかに残された水資源の経済的運営は総合開発によって高度な利用と、治水を計ることこそ経済の発展と民生の安定向上に不可欠の課題であると云える。

(イ) 境川の開発については、地方の熱意が効を奏して北陸電力が当初の計画を更に一地点追加して、地元の多目的利用の要望を取り入れながら水資源の活用を余すところなく、つとめを果たした水を日本海に注いでいることは、当町発電史の第一頁を燦然として輝やかせている。

(ロ) 黒部川分水計画 世紀の発電工事として世界の注視を集めた、黒四の計画があるや、当町の一部黒部川利水受益町民の協力と、地の利を唯一の武器としたいわゆる、朝日第一、朝日第二の分水発電計画を立案、これらの推進につとめること、過去八年間の長きに及んでいる。こうしたたゆまない努力が遂に、関西電力の主脳部をして数百億の資本を投じて開発計画の機運に踏み切らせ、着々とその準備が進められつつあることはまさしく当町の浮沈を決する世紀の一大事業であり、町民の総力をここれ一つに結集して観光、地下水資源の開発と併せ、灌漑と治水計画等に総合的な創意の推進に務めなければならぬ。

(ハ) 工業用水と上下水道 当町の地下資源と地形の分布状況を観察するに、決して工場適地とは考えられない。したがつて大規模な工業用水を必要とせず、小規模なものについては、地下湧水と、小川の伏流水で充分に満たすことができる。機軸にして将来大容量の工業用水が必要となる立地条件に恵まれた場合と云えども、黒部川分水朝日発電所計画が可能な限り、放水路からの取水

は極めて容易であり、富山県の新産都市で計画している一立米当り三円五十銭をはるかに下まわる一円五十銭程度にとどまることは疑い余地がない。逆にこのようなことが産業都市としての立地条件に大きな役割りをしめるといふことも考えられる。

上水道においては、泊を中心とした市街地でも最少限給水人口一万人以上に達して初めて資本償還ができ、設備投資が必要となるもので、その場合水源地を笹川上流に求めるのが最も適切である。

他のしゅう落においては人口の稠密に應じた簡易水道による方法が経済的見地からして最も賢明である。下水道の計画については、現在実施の段階にある都市下水道計画案も決してやぶさかではないが、設計の基準となる水利学的设计理念にかけており、本計画を以つて初期の目的を達成することは極めて困難である。いまでもなく下水とは家庭廃水、工場廃水、雨水、地下水等で都市生活上排除しなければならぬ廃水の総稱であつて灌漑排水まで包含するものではない。実施に当たっては各下水道に属する集水量的的確なる把握、灌漑排水、下水の区分を明確に再検討し、投資効果の最大値を求め、町民負担を最小限にとどめるよう一段の努力が必要である。

二、観光資源

当町は、県下でも稀にみる観光資源に恵まれた町であるが、地形的に恵まれず開発の足がかりもつかめない為、一般から親しみも薄く、天恵の景観を死蔵させていることは極めて遺憾である。すみやかに専門家の総合診断を求め、開発価値を評価した大資本の投入を計るべきである。

(イ) 山岳観光

本年八月、たまたま富山大学の学術調査に便乗して高山植物で知られる朝日岳周辺の観光価値について富山大学理学博士小笠原和夫先生に依頼したところ、心

よく引受けくださり概略調査の結果が別紙の如き報告書(添付図五葉)が提出され委員会の審議を経てるので参照されたい。

先生は、会津磐梯のスカイライン、山形県蔵王スカイラインをはじめ立山、黒部、有峰観光開発等にも参画されている観光の世界的権威者であり今後の調査に大きな期待がかけられるとともに今回の踏査報告が富山県総合開発審議会に計画されている、北アルプススカイライン計画に全く一致している点が注目される。

(ロ) 市外地周辺の観光 宮崎海岸と、鹿島樹叢を起点とした城山、七重滝、三峯スキー場、池ノ原、石谷、棚山、負釣を経て小川温泉元湯のスカイラインに通ずる観光も近い将来に必ず脚光を浴びる要素が極めて可能な計画であることが考えられる。

(ハ) 温泉資源 小川温泉の泉源は無盡蔵であり、ボーリング等により緊急整備する必要がある。設備資本の独占投資をさげ一般に開放して少くとも二団地の温泉郷が絶対必要であり、観光の町として生きるためには、町当局並びに、小川温泉経営者の劃紀的な英断が望まれる。

三、地下資源と工場誘致

(イ) 地下資源

明治の末期から大正の初期にかけて、小川の上流で金鉱の採掘が行なわれ、一時は活況を帯びたのであるが、埋蔵量に乏しく遂に廃坑となり今日に至つている。最近において境沖合に天然ガスの自噴が発見され、工業試験所大塚博士の調査結果では構造性のもので有望視されていることは、地下資源に乏しい当町としてはまことに喜ばしいことであるが、それだけに町民の期待も大きく、うわついた宣伝は厳に慎まなければならない。第三期層地帯にガスの自噴することは決して珍しいことではなく、要は、質よりも埋蔵量が企業化を決する要因をなすもの

で、現在までの調査状況を集約すると、コストの安い天然ガスを需給化する為の諸条件には極めて乏しく、一般財源の予算を伴う町独自の調査は、確たる裏付けの実証がない限り絶対にさげねばならない。

唯一つ、科学の進歩により将来に期待できることは、無盡蔵にある粘土の工業化でなろうかと思う。まだまだ先の遠い単なる夢のような期待ではあるが、将来の科学者は決して見落としはしないということを予言として残しておきたい。

(四) 工場誘致

地域社会の発展のためには、あれもこれもできることなら何でも手を出したがるのは当然ではあるが工業用水や地下資源に乏しく、半年は冬眠せねばならない豪雪地帯である。しかも地形に恵まれず、したがって交通の便も悪い。黒部川分水朝日発電所計画が実現しない限り、工場を誘致するための立地条件として満足できるものは何一つとして見当たらない。これでは全国の平坦地が總べて工場で埋めつくされない限り、工場誘致ということを自ら口にしない方が賢明であろう。

四、交通網の確立

国の計画している北陸線の複線電化と新国道八号線の開通を間近かにひかえ、近く北陸自動車道も着工の運びとなれば、当町における経済文化の交流も急速なる進展をとげることは論をまつまでもないが、これらは国土開発の一貫した計画であって朝日町の特色を活かしたのではない。

巻紙を敷き伸ばしたような地形に均衡のとれた道路網を確立することは容易な技ではないが、泊を起点とした放射線状に横の連繫を考へながらしゅう落をまとめることに意を用いるべきである。

特に、最近世界的観光地として脚光を浴びつつある宇奈月と結ぶ旧来の主要地方道のみならず、すみやかに、バイパス道路を建設して観光客を引きよせよう、観光開発と相まって推進せねばならない。以上

朝日町議会総合開発特別委員会

委員長	酒井 源
副委員長	上 沢 栄
委員	金 森 栄
委員	上 島 栄
委員	清 水 栄
委員	近 藤 栄
委員	山 本 豊
委員	長 崎 仙
委員	長 井 直 助

(昭和39年11月2日現在)

朝日町白鳥山、犬ヶ岳 朝日岳方面 観光資源 開発踏査報告

ご依頼により、酒井榮氏の案内のもとに、七月二十一日より二十四日に至る四日間実地踏査に基づく観光資源開発の構想をご報告します。

本調査には、藤平彬文氏並びに藤平知良氏(読光新聞北陸支社)が協力したことを申し添えます。

踏 査 経 路

- 第一日 泊—宮崎—親不知—糸魚川—姫川—蓮華温泉(泊)
- 第二日 蓮華温泉—朝日岳—朝日小屋
- 第三日 朝日小屋—イブリ山—北又—小川温泉(泊)
- 第四日 黒部扇状地概観視察

踏査地域の概観的特徴

北アルプスは南は御岳、乗くらに始まり、北は宮崎、親不知に終る山系で、このうち、御岳より三又蓮華岳に至る地域は南部北アルプスで、三又蓮華岳より黒部川をはさんで鷲羽岳、野口五郎岳、黒部五郎岳、北又岳、針木蓮華岳、鹿島ヤリガ岳、白馬岳、薬師岳、立山、劔岳に至る中部北アルプスが続き、このたび踏査区域を中心とする白馬岳、雪倉山、朝日岳、長梅山、白鳥山、宮崎(親不知)は北部

北アルプスと区分される。富山大学々術調査団が昭和三十七年以来調査を実施した区域は中部北アルプスであるがこのたび踏査した北部北アルプスは、地形、地質、気象、動植物など学術調査の宝庫であり、自然景観的には南部、中部に優る観光資源であることが認められた。しかも、それは全く国際的な資源なのである。非常な豪雪地帯であるために観光ルート(地図参照)は稜線を選ぶべく

- 第一案 宮崎、城山、黒菱山、犬ヶ岳、長梅山、朝日岳、白馬岳
- 第二案 宮崎、境、白鳥山、犬ヶ岳、長梅山、白馬岳

- (一) 日本海から北アルプスを結ぶスカイライン(世界的第一級の景観)
- (二) 白鳥山、黒菱山、犬ヶ岳、長梅山などは人跡稀なる原生林の秘境(日本の第一級)
- (三) 朝日岳山腹夕陽ヶ丘より日本海の落日展望(世界的第一級)
- (四) 夕陽ヶ丘より能登、佐渡にわたる夜の漁火の大観(日本の第一級)
- (五) 白鳥山、長梅山のスキールート(日本の第一級)
- (六) 大所川の「ヒスイ」はほとんど無盡蔵のものとして推定せられ、かつ、朝日岳、雪倉山のお花島は北アルプスの他のどこにも見られない優秀なもので、日本の第一級であるばかりか、おそらく世界的第一級のものである。

特に、シロウマアサズキ(白馬岳にて超特別記念物指定)、タカネボラ、コマクサ、ヒメアヤメ、オヤマノエンドウ、ウルツソウ、ナンキンコザクラ、ミヤマアケボノソウ、ミヤマウススキソウ(アルプスのエーデルワイス)など広大な範囲にわたり、なお、標高九〇〇米、一、六〇〇米がブナの原生林を形成し、中でも黒菱山、犬ヶ岳、白鳥山は人跡未踏の秘境である。

- (七) 朝日岳、長梅山、犬ヶ岳、黒菱山、白鳥山からは日本海を大観し得るのみならず、背後に白馬岳、僧ヶ岳、猫又山、毛勝岳、劔岳、立山、薬師岳、黒部五郎岳

を一望に掌握することができ(世界第一級)以上、七つの条件によって北部北アルプスは完全に、「国際的の第一級」の大景観と認められる。なお、火山地質をもち温泉群(開発すればまだまだあるものと思われる。)の宝庫であることも力説される。

北部北アルプスの観光資源 開発構想

- (一) 地域的には必ずしも長野と組む必要はないが、新潟と組むことは賢明であり、ただ観光資源的にみれば新潟側より富山側にありとの自覚をもって進んでさしつかえなく
- (二) 観光資源開発はすべからず大資本の導入をはかるべく、これによつて道路とホテルを豪華にし、保護すべき天然資源即ち原生林やお花島は絶対に保護区域を設定すべきである。従来の観光開発がすべて自然の破壊と俗化に転落している実体を注意する必要がある。これ位の優れた観光資源であるならば、必ず大資本が動くは必定である。
- (三) 将来的観光資源開発はすべからず科学的調査を根幹とすべく、そのためには五月下旬ごろ雪を利用し、安齊(温泉、観光)四手井(森林)、鈴木(植物)、深井(地形)、藤平(一般)等とも一度立会踏査を行ない、その結果を全国的に広報する等のことを試みたい。

昭和三十九年七月三十一日 富山大学教授 理字博士 小笠原 和 夫 朝日町議会総合開発特別委員会 委員長 酒井 栄 殿

健康をよるこぶ運動の実施について

全国国民健康保険連合会提唱により、朝日町国民健康保険では十一月一日より皆さまの健康保持増進と、うなぎ并りの如く上昇する医療費の節減を目的として、健康をよるこぶ運動を展開し、先般各戸に次のような自分を守る健康十カ条を配布して、皆さま一人ひとりが自分の身体を自分で守るよう呼びかけております。

国民健康保険だより

自分の身体は自分で守り、自分の健康を自分でよるこぶ、ひいては地域住民全体が身体を守ってこそ、皆さまのよろこびであり、また地域全体のよろこびでもあります。このような運動展開によって住民全体が健康となり、そのよろこびの気運の盛上りと、多額の医療費を使わぬことこそ本運動の最大の効果であり、終局の目的であります。

健康を守る十カ条は、他の人や役場の健康保険を守る十カ条ではありません。皆さまを守る健康十カ条であり、自分の身体は自分で守ってください。

- 一、自分を守る健康十カ条
- 一、夜ふかしをやめて、十分な睡眠をとります。
- 一、飲みすぎ食べすぎをつつし、楽しく食事をいたしましょう。
- 一、自分の身体は自分で愛し、身体の無理使用はやめましょう。
- 一、服装は常に清潔にして、厚着はやめましょう。
- 一、健康過信に「我まん型」「気づかず型」「放置型」があり、よく

注意しましょう。

- 一、平常心をやわらげいらいせす明るく朗らかにすごしましょう。
- 一、「お元気で」「ご壮健で」の言葉を交わしお互いに健康をよるこぶしましょう。
- 一、酷酔運転やスピードの出し過ぎはやめましょう。
- 一、つとめて歩き、乗物には注意をして交通事故をなくしましょう。
- 一、病気は早めに診断を受け、病後の保養に努めましょう。

祝成人式

日時 一月十五日午前十時
 会場 泊小学校講堂
 第十七回朝日町成人者数
 男一八六名
 女二〇四名
 計三九〇名

宇宙開発時代の正月に思う

書経に「正月」とは一月一日のことなり。とあるが、日本の正月における多彩な行事は殆ど中国から伝わり、日本においていくたびかの変遷を経て今日にいたっているが、はねつきがバドミントンになったり、たこあげがグライターになったり、カルタとりがトランプになったとしても、なお振袖姿に日本髪、男子の和服の紋付羽織袴(もつともこれは儀式用としてのみ範囲が狭められているが)などは日本の古い服飾文化の歴史的な遺物としてのみ論ずるはあまりにも苛酷な気がする。

初詣や雑煮、書初や左義長、その他、幾多の行事や習慣はいずれも正月の縁起を祝うための行事ではあるが、新しい年に入ったときの新しい心構えを作るための手段として、あ

地方税法の

一部改正について

同じ収入のものが居住する町により町民税の額が異なっていた。この不均衡を是正するため、昭和三十九年度は、特別方式を設け、昭和四十年年度より全国一律の本文方式による課税方法に法の一部改正が行なわれた。

改正前は、所得控除として基礎控除九万円のみの方式が、今年度の特別方式として本文方式に近い特別方式(扶養控除第一目四万、第二目より三万、基礎控除九万)がとられ、更に昭和四十年年度より本文方式(雑損控除、社会保険料控除、生命保険料控除、医療費控除、扶養控除、(第一目七万、第二目より三万)基礎控除九万)が全国一律に適用される。

昭和三十九年度と四十年年度を例にとり比較してみよう。収入五十万円の方が、妻、子ども二人の家庭で、災害による被害額十万円、社会保険料三万円、生命保険料四万円、医療費二万円の課税標準額を算出すると、

一、昭和三十九年度
 扶養控除十万円(妻四万円、子ども六万円)
 基礎控除九万円 計十九万円
 課税標準三十一万円

一、昭和四十年年度
 雑損控除五万円(収入の割を超えない額) 社会保険料三万円(金額) 生命保険料二万二千五百円(最高) 医療費控除なし(収入の五分を超えない額) 扶養控除十三万円(妻七万円 子供六万円) 基礎控除九万円 計三十二万二千五百円

課税標準 十七万七千五百円
右の例のように非常に納税者に有利になります。 税務課

文化財の保護と調査の問題で町民の皆さまへ

町民の皆さま、明けましておめでとうございませう。

歳明けて昭和四十年の朝日町におもいを致しますに、一昨年の暮発足いたしました朝日町文化財調査委員会が、ここに二年目の春をむかえたのであるが、この間活動してまいった文化財の調査研究によって、数千年前の先住民族の住みつきから今日にいたる祖先の治績や、人文発展の跡をしのぶ貴重な遺跡遺物が逐次発見され、郷土の文化財として、また民族資料として、町民の皆さまの参考にして、子孫のために保護傳承できることは誠によろこばしいことである。またかかる作業がなされるこ

とは、今の世代を荷う者の責務であることが当然と考えられる。

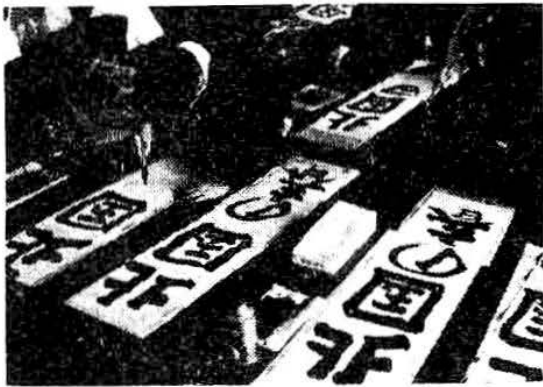
一昨年十一月、朝日町文化財保護条例が制定され、条例第三十七条の定めるところにより、十二月九日に調査委員会が発足し、七名の委員が調査研究に当たっている。朝日町は越中の国の最北端に位置し、文化文政のその昔から文化の町、泊として知られ、また源平の遠い昔から宮崎氏の拠城宮崎城など、史実に、文化史の上に多くの遺構、文化財を有している所であることは皆さまのよくご承知のことである。当委員会は一昨年の十二月組織委員会を開催して以来、月一回の定例委員会に併せて、各専門部門の権威者との研究をかさねるなど委員一同全力を傾注してきている。特に昨年四月定例会以降は実地についての調査研究活動を行なっている。

その調査の跡を略記するならば、四月、南保地区は真言宗清水寺を中心とした調査を行ない、清水寺の毘沙門を古美術品として指定した。

五月には、笹川地区の先住民族の遺跡、正覚寺を中心とする調査を行ない、五輪塔、板五輪等の発見、或いは質問的調査を行ない、六月、境地区の境関趾を中心に、護国寺などの調査をとげる。

七月には、山崎の三位組の初代十村大井家及びその普若寺大家庄の天香寺などの調査を行なった。

文化財調査委員会 委員長 折谷芳桓



(2記)

農業近代化の夢を そしてその実現へ

新しい希望に満ちた新春を迎えられ、農家の皆さん、農業近代化の夢はどんな夢でした。その人各人には異なるうには考えますが、今年こそその実現に努力すべき年でありましょう。

最近の言葉ではアイデアともいわれています。家庭生活の向上のためには各戸にありますが電気釜の実現は夢から出た誠といわれています。朝日町の農家の皆さん、正月の夢を話し合う機会を作って部落毎に良い夢を話し合うことが現在我われ農家収入を増すことなのです。

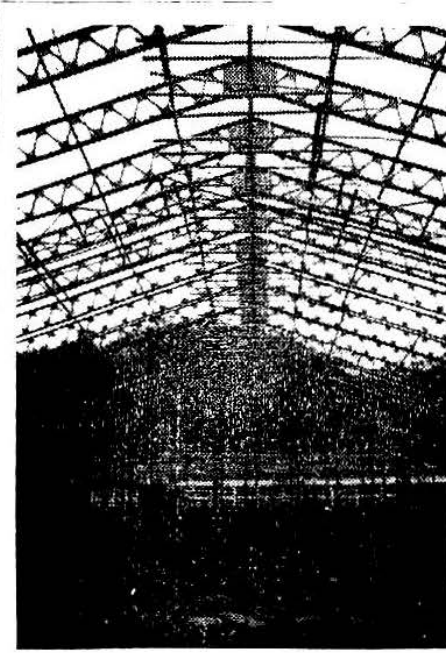
農事教室

朝日町でも農業近代化の一環として、農業構造改善事業が第二年度をむかえたわけですが、足に泥のつかない農業の夢が実現されそうです。農作物を栽培して一番困るのは何でしょう。それはやはり病虫害ではないでしょうか。昨年水稲に紋枯病が発病したため減収した人もあったようです。うんかのため三、四回も薬を撒いて防除したが、やはり粒重が二十％以下であった等で水稲作でさえも病虫害が出て困るのです。野菜が値が高くて困ったと消費者の方々から話をよく聞く。これも病虫害や湿害のためです。病虫害の被害のない栽培法はないものか、この夢の実現もおもしろいでしょう。猫も杓子もという叱られるかもしれないが、とにかく最近では省力ばやりである。あしたに星をいただき夕べに月影を踏むにいうような考え方などとも現代向きではないよ

うだ。しかし現在でも生物相手の仕事はこのような苦勞の中にはじめて生産が向上するのである。だから頭が古いと云われるのです。

最近では農業や機械の発達で病虫害防除の仕事もよほど楽になったが、しかし防除の仕事はやはり嫌な仕事の一つである。少くとも進んでやりたい仕事ではない。自分の身体のことでも早期診断、早期治療の大切なことは十分知っていたがなかなかやれない。ちよっとした菌の治療でも、とことんまで放っておくのであるから、いわんや作物の病虫害防除においおやである。それと云って防除しない大変なことになるのである。自分一人で防除する大変苦しいことでも共同してやれば楽しいものである。ここに今後の農業の行き方があるように考えられる。個人防除しているとは何回薬を撒いても病虫害の被害が多いのである。共同してやれば一回でも完全防除ができるものである。朝日町では過去二、三年共同防除のため空中撒布の方法を取ってきたわけもここらあたりにあるよ

進行する泊中学校 屋内運動場新築工事



最新の設備を誇る、泊中学校屋内運動場新築工事も現在鉄骨が終り屋根下地工

事にかかっていいます。降雪期を迎えたが、来年二月完成を目指して急ピッチで工事が進められています。

朝日町のスキー行事

十二月十三日の朝日スキークラブの総会において、次の如く決定されました。
一、日曜スキー教室
日時 一月十七、二十四、三十一日(各日十時から三時まで)

追加抹消

- 十二月号「あさひ」の成人者名簿に次の方々を本誌に追加、抹消いたします。
- ◆追加
大家庄地区 川上 洋
南保地区 中村和彦 越間陽子 堀地澄子
中島恵子
境地区 渡辺政士
宮崎地区 植木千鶴子 水島了
- ◆抹消
山崎地区 山崎 真
愛場地区 岡本邦夫 越坂寿子
柳沢 翠

消防署だより

昨年の異常豪雪により降雪時の消防対策および災害の防止についての消防体制を整備強化するとともに、万全の対策をすすめているのであります。本年もいよいよ本格的積雪期となりましたので、皆さまも次の事項にご留意のうえご協力くださいますようお願いいたします。

1. 消火栓や防水貯水槽附近の除雪は各町内で必ず励行してください。
2. 消防ポンプ自動車は活動できるように道巾を広く除雪してください
3. 屋根雪をおろした時は、直ちに除雪して交通の妨害にならないようにしてください。

- 場所 三峯スキー場
- 対象 一般、高校生、中学生、小学生
- 指導 朝日スキークラブの全日本スキー連盟準指導員、一級合格者
- 受講料 無料
- 朝日スキークラブ・スキー検定会
- 日時 一月三十一日(日)午後一時
- 会場 三峯スキー場
- 受検者 一般、高校生、中学生、小学生
- 合格者 技術に応じ上級、中級、初級バッジを授与します。
- 検定者 朝日スキークラブ
- 検定種目 日曜スキー教室で指導
- 申込み 当日会場で受けます
- 朝日町民スキー大会
- 期日 二月十四日(日)
- 会場 三峯スキー場
- 種目 大回転(一般高校、中学校男女、小学校男女)
- 申込み 地区体協を通して事務局へ

四、スキー楽しむ会
●期日 三月六、七日(土、日) 一泊二日
●場所 県外有名スキー場
●クラブ会員以外の一般参加者も歓迎します。
●詳細は二月下旬頃、クラブ会員に問合せください。
(朝日スキークラブ)

五箇庄地区 篠田 浩 近藤英武
山崎地区 大倉義志 鹿熊昭弘 大倉久信
初田明光 青島増男
泊地区 愛場澄子 土肥真理子 柳沢 翠
岡本邦夫 越坂寿子

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六円
定価 六円